

研究情報公開資料(オプトアウト用)

この公開情報をご覧になって、

1. ご自身が研究の対象になっているのかがよくわからない
2. 研究の内容や利用される試料・情報について詳しく知りたい
3. ご自身の情報が研究に用いられることを拒否したい

～この場合はお申し出により、試料や情報の研究への利用を停止します

などの場合は、下記 12.の「お問い合わせ先」までご連絡ください

研究管理番号 (受付番号)		YCR24006
1	研究課題名	Bouchard 結節に対し FDS 切腱術を施行し 3 年経過観察可能であった症例の検討
2	研究機関および 研究責任者 (研究分担者) (共同研究機関)	研究機関 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 研究責任者 手の外科・マイクロサージャリーセンター 医師 牛尾 茂子
3	研究期間 調査期間	研究期間 開始:院長許可後 ~ 終了: 2024 年 4 月 30 日 情報等調査期間 開始:2024 年 4 月 1 日 ~ 終了:2024 年 4 月 24 日
4	研究の背景・目的 ・意義・方法等	<p><背景> 当科での日常診療の中で PIP 関節変形を認める症例の多くに A1 腱鞘の圧痛を認めることが多く、FDS の bowstringing を見とめる症例も少なからず存在することに気付いた。また、関節変形があっても可動域制限の少ない症例では非常に高い確率でばね指症状を呈する状況を目のあたりにした。そこから、遷延した腱鞘の狭窄によって腱は挫滅を受け腫大し、PIP 関節を慢性的に牽引し、やがてそれがさらなる PIP 関節の破壊につながるものと考えた。そこで、難治性腱鞘炎症例に対する手術法である FDS 切腱術を Bouchard 結節症例に応用することとした。</p> <p><目的> FDS 切除術を行なった Bouchard 結節症例のうち術後 3 年以上経過観察可能であった症例について検討を加え、その効用および手術適応条件について確認する。</p> <p><意義> Bouchard 結節に対する FDS 切除術による疼痛改善度、可動域改善度や人工関節置換術への移行の状況を確認できる。Bouchard 結節に対する FDS 切除術の適応条件を明らかにできる。</p> <p><方法> 3 年経過観察可能であった症例のうち、FDS 切除術後に人工関節置換術を施行した症例と FDS 切除術のみ症例の 2 群に分け、術前および術後の関節可動域、安静時および運動時疼痛度、側屈度の推移について比較検討する。</p>
5	研究の対象となる方	2014 年 1 月から 2019 年 12 月までに FDS 切腱術を受け、3 年以上経過観察が可能であった患者
6	試料・情報等の 利用目的、利用方法	ブシャール結節に対する FDS 切腱術について、当院の豊富な症例の解析を行い、その有用性について検討し、学会および論文にて発表する。
7	研究に用いる試料・ 情報の種類(項目)	利用する情報は、手術記録、記録写真、カルテ記録、画像診断です。個人が特定されるカルテ番号、生年月日などは情報から切り離して使用します。
8	試料・情報を利用 する者の範囲	上記 2 と同じ範囲の者
9	試料・情報の 管理責任者	上記 2 に示した研究責任者

10	計画書等の閲覧	研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、知的財産権の保護等に支障がある場合は閲覧できないこともあります
11	その他の開示すべき情報	個人情報については、一定の条件の下で開示可能です。 下記 12.のお問い合わせ先までご連絡ください。ただし、他の対象者の個人情報に支障があるなどの場合は開示できないこともあります。
12	お問い合わせ先	<p><u>試料・情報が研究に用いられることについて、ご本人(あるいは代理人)が了承されない場合は、下記の連絡先までお申し出ください。</u></p> <p>連絡先 医療法人社団あんしん会 四谷メディカルキューブ 手の外科・マイクロサージャリーセンター 医師 牛尾 茂子 東京都千代田区二番町 7-7 電話 03-3261-0401 FAX 03-3261-0402</p>

診療情報を研究に用いるにあたっては、個人情報保護のため個人を識別できない状態にして 6.の目的のためだけに使用します。また研究成果を学会や論文で発表する際は、「個人を特定できる情報を削除した上でデータ処理、解析」したものを使用します。